



第 1 期 活動報告書

(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

特定非営利活動法人 健やかまちづくり



目 次

1. 活動について.....	1
1-1 初台会議.....	1
1-2 徳島大学地域交流シンポジウム 2011.....	3
1-3 まちの保育園見学会.....	4
1-4 初台地区における環状第6号線等の歩道整備検討会への参加.....	5
1-5 会報.....	6
2. 事業報告書.....	7
2-1 事業報告提出書.....	7
2-2 事業報告書.....	9
2-3 財産目録.....	10
2-4 貸借対照表.....	11
2-5 収支計算書.....	12
2-6 役員名簿及び役員のうち報酬を受けたことがある者の名簿.....	14
2-7 社員のうち10人以上の者の名簿.....	15
3. 監査報告書.....	17
4. 参考資料（活動概要）.....	18

1. 活動について

1-1 初台会議

本NPO法人の本拠地である初台地区の山手通り整備を契機にして、当地区の健康医療福祉都市※1実現に向け、3か月に1回の頻度で、先進的な取り組みや、地域にゆかりのある取り組みなどを行っている方々に講演していただき、勉強会を開催しました。

講演者は各回のテーマにそってお招きし、今後の初台地区への展開に向けた知見、アドバイスをいただきました。開催にあたっては、Facebook、HP、ブログ、会報にて開催案内・報告を実施しております。

※1 健康医療福祉都市について

健康医療福祉都市とは？

<健康医療福祉都市構想>

1. 高質な脳卒中・高齢化医療の地域医療連携の確立
2. 市街地中心部のバリアフリーの歩行空間(ヘルシーロード)整備と社会参加による人間回復
3. ヘルシーロードからの情報&サービス発信と医療関連産業街の確立による、中心市街地の相乗的経済活性化



<健康医療福祉都市の4項目>

- ① 回復期リハビリテーション病院を中継する質の高い医療連携の整備
- ② 市街地中心部にヘルシーロードを整備 (=街自体から、生きるエネルギーを発信)
- ③ 健康、医療、福祉システムや生活情報・サービスの情報提供
- ④ 市街地中心部の従来型ショッピング街活用と新旧ビジネスの提供による相乗的経済活性化



図 Facebook での告知



図 HP での広報 (議事録のダウンロードサービス)

	日 時 【参加者数】	テーマ 話者
第7回	平成23年 6月10日(金) 【38名】	『地域の公共交通 地域の公共交通』 1. 渋谷区コミュニティバス「ハチ公」について (渋谷区 福祉保健部 安蔵 管理課長) 2. 初台地区における京王バスの運行状況、施設整備利用 初台地区における京王バスの運行状況、施設整備利用状況等について (京王電鉄バス(株) 営業部 菅原主任) 3. 京王グループの沿線地域に果たす役割や取組み (京王電鉄(株) 事業推進部 古屋沿線価値担当課長)
第8回	平成23年 9月2日(金) 【27名】	『学校と地域：教育によるコミュニティ形成のカタチ』 1. 初台の学校と地域について (関東国際高等学校 黒澤 企画推進部長) 2. 芸術士のいる保育所挑戦 について (NPONPO アーキペラゴ 三井理事長、太田芸術士) 3. シブヤ大学の挑戦 について (シブヤ大学 シブヤ大学 左京学長 左京学長)
第9回	平成23年 12月2日(金) 【42名】	『地域企業の社会貢献と地域貢献活動』 1. 伊藤園のCSR活動ー地域活性化への取り組み (株式会社伊藤園 取締役 管理本部 副本部長(知的財産部・環境部担当)兼 経営企画部長 笹谷秀光氏) 2. 地域貢献と社会貢献活動について (ロッテ株式会社 広報・宣伝部長 辻清氏) 3. NTT東日本の地域貢献活動について (NTT東日本 総務人事部 総務部門CSR担当 池田亜由子氏)

1-2 徳島大学地域交流シンポジウム 2011

徳島大学主催の「徳島大学地域交流シンポジウム 2011」開催に当たり、山中理事、酒向理事、松原理事が中心となって企画検討いたしました。当NPO法人も“協力”という位置づけで参加し、当日会場にて活動内容を紹介するパネル展示を行いました。

- イベント名：平成 23 年度徳島大学地域交流シンポジウム「健康・医療・福祉のまちづくりを考える」
- 内容：「寝たきりをつくらぬ都市」 健康医療福祉都市は、人間性を回復させる「まち」の空間とコミュニティづくりを目指すものです。脳卒中からの人間回復を実現する「闘うリハビリテーション」実践の中から構想されました。シンポジウムでは、構想の発案者である医師からのメッセージと、構想の具体化を進めている国の取り組みを紹介し、健康づくりを大きな柱として進めている徳島県での取り組みや、徳島大学からの提案を話題に徳島での健康・医療・福祉が連携したまちづくりの方向を議論します。
- 日程：平成 23 年 10 月 16 日（日曜）13 時 30 分から 16 時 30 分
- 場所：とくぎんトモニプラザ（徳島県青少年センター）大会議室（徳島県徳島市徳島町城内 2 番地 1）
- 参加費：無料
- 主催：国立大学法人徳島大学
- 共催：徳島地域連携協議会
- 後援：徳島県、徳島県市長会、徳島県町村会、徳島県医師会、徳島市医師会、徳島新聞社、四国放送（株）、NHK 徳島放送局
- 協力：NPO 法人健やかまちづくり

1-3 まちの保育園見学会

『こどもとまちの未来をつくる保育園』のコンセプトのもと開設した『まちの保育園』。

人格形成に重要な時期を過ごす保育園では大学や小学校、商店街、高齢者施設など地域と連携を図り、併設したカフェをきっかけに地域住民との交流をもつなど、『まちの人』と協力した保育が行われています。NPO 法人健やかまちづくりでは、地域と一体となったまちづくりの先進事例である『まちの保育園』の見学会を開催いたしました。

平成23年12月17日（土） 14時-16時 【7名】

13:50 集合 @まちの保育園エントランス

14:00 保育園&カフェ見学

15:00 意見交換 @保育園事務所



1-4 初台地区における環状第6号線等の歩道整備検討会への参加

東京都が主催する「初台地区における環状第6号線等の歩道整備検討会」に、酒向理事、松原理事、事務局（佐藤真、石川）が参加し、山手通り整備に合わせたヘルシーロード実現に向けて、整備内容に関する提案を行いました。

会議での提案を踏まえ、山手通りの清水橋交差点～初台交差点間の照明の照度向上、残地のポケットパーク整備、随所へのベンチの設置が実現するとともに、初台駅～西新宿5丁目駅間が都のヘルシーロードとして指定され、エリアマップに記載されました。

日時	テーマ
第5回 平成23年8月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・検討会（中間のとりまとめ）について ・残地箇所における休憩施設（案）について ⇒夏場に日陰が必要であり、高木を植えるべき、との当 NPO からの提案が採用された 季節感を与えるハナミズキが植えられる予定 ・環状六号線の整備状況について
第6回 平成24年1月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘルシーロードの指定について ⇒案内サインに示されるヘルシーロードについて、「ヘルシーロードとは何か」の説明が必要、との当 NPO からの提案が採用された

※本検討会の第1回～第4回は下記の日時で開催されています。

第1回 平成22年8月3日

第2回 平成22年10月28日

第3回 平成23年1月20日

第4回 平成23年3月10日

1-5 会報

これまでご報告したあらゆる活動について定期的に会員の皆様にご報告するため、季刊で健やかまちづくり会報「すこまち便り」を発行しております。

発行日		内容
第1号	平成23年10月6日	<ul style="list-style-type: none">・ NPO法人健やかまちづくりとは・ プロジェクト紹介：初台プロジェクト・ 理事からの言葉（藤井直人理事）・ 事務局の健やかコラム（川崎洋輔）
第2号	平成23年12月9日	<ul style="list-style-type: none">・ 第9回初台プロジェクト会議開催報告・ 徳島大学地域シンポジウム2011報告・ NPO法人アクア・チッタの紹介・ 理事からの言葉（山中英生理事）・ 事務局の健やかコラム（渡部理恵）

平成24年6月30日

東京都知事 殿

所在地 渋谷区本町3-12-1 住友不動産西新宿ビル6号館
株式会社オリエンタルコンサルタンツ内
名称 特定非営利活動法人 健やかまちづくり
代表者氏名 秋山 哲男 印
電話番号 03-6311-8458
ファクシミリ番号 03-6311-8459

事業報告書等提出書 (平成23年度、第1期分)

前事業年度（平成23年4月8日から平成24年3月31日まで）の事業報告書等について、特定非営利活動促進法第29条第1項及び特定非営利活動促進法施行条例第4条の規定に基づき、下記の書類を各2通提出します。

記

- 1 事業報告書 2部
- 2 財産目録 2部
- 3 貸借対照表 2部
- 4 収支計算書 2部
- 5 役員名簿及び役員のうち報酬を受けたことがある者の名簿
- 6 社員のうち10人以上の者の名簿

(記入上の注意)

- 1 特定非営利活動に係る事業のほか、その他の事業を行う場合には、それぞれ特定非営利活動に係る事業の財産目録、貸借対照表及び収支計算書と区分して作成してください。
- 2 5の書類は、前事業年度において役員であった者全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無について記載した名簿のことです。
- 3 7の書類は、前事業年度において記載事項に変更があった場合に提出してください。
- 4 8の書類は、前事業年度において当該定款の変更の認証があった場合に提出してください。
- 5 9の書類は、前事業年度において当該定款の変更により登記事項に変更があった場合に提出してください。

事業報告書等の形式チェックリスト

ご提出いただいた事業報告書等の中には、書面の不足、不備により受理できないものが散見されます。特に不足、不備が目立つ事項について、以下にチェックリストとしてまとめましたのでご活用ください。

1. 提出部数について

以下の書類がそろっているか。

- 0 事業報告書等提出書（1部）
- 1 事業報告書（2部）
- 2 財産目録（2部）
- 3 貸借対照表（2部）
- 4 収支計算書（2部）
- 5 役員名簿及び役員のうち報酬を受けたことがある者の名簿（2部）
- 6 社員のうち10人以上の者の名簿（2部）
- 7 変更後の定款※（2部）
- 8 定款の変更に係る認証に関する書類の写し※（2部）
- 9 定款の変更に係る登記に関する書類の写し※（2部）

※ ただし、

7の書類は、前事業年度において記載事項に変更があった場合に提出

8の書類は、前事業年度において当該定款の変更の認証があった場合に提出

9の書類は、前事業年度において当該定款の変更により登記事項に変更があった場合に提出

2. 事業報告書等提出書について

- 法人（代表者）の登録印を押印しているか
- 所在地は、本事業報告書等提出時点のもので、かつ所轄庁（東京都）に届出ているものか
→所在地が変更されているにもかかわらず東京都に未届の場合は、本事業報告書等提出書と併せて定款変更届出書などにより所在地変更を届け出てください。
- 代表者は、本事業報告書等提出時点のものか
→前事業年度内の代表者ではなく、事業報告書等を提出する時点の代表者を記載して下さい。
- 法人名称は、本事業報告書等提出時点のものか
→法人名称が変更された場合は、事業報告書等を提出する時点の法人名称を記載して下さい。
- 電話番号、FAX番号は現在使用できる番号か

3. 財産目録、貸借対照表、収支計算書について

- 定款において「その他の事業」もしくは「収益事業」を行うとされている場合は、それぞれの事業会計についての財産目録、貸借対照表、収支計算書も作成しているか
→法人が行う事業として「その他の事業」もしくは「収益事業」も定款に記されている場合は、その事業の実績の有無にかかわらず、それぞれの事業会計についての財産目録、貸借対照表、収支計算書を分けて作成し、提出する必要があります。

→東京都に確認済。「その他の事業」もしくは「収益事業」は実際に行っていないければ書類作成・提出は不要。

4. 役員名簿及び役員のうち報酬を受けたことがある者の名簿について

- 書式は「書式第13号」を使用しているか
→事業報告書等に使用する書式は「書式第13号」です。「書式第1号」（就任期間の記載欄がなく、報酬の有無を○で示す形のもの）ではありません。
- 前事業年度内に役員を務めた理事及び監事の全員について記載されているか
→就任期間の短長及び報酬の有無にかかわらず、前事業年度に就任していた理事及び監事の全員を記載する必要があります。報酬の有無は、「報酬を受けた期間」欄の記載の有無で区別します。
- 「就任期間」は、前事業年度期間に対応する期間が記されているか
→この報告は前事業年度に関するものですので、前事業年度よりも前、あるいは後の任期を記載する必要はありません。

5. その他

1. 押印は「事業報告書等提出書」のみに必要です。割り印、原本証明などの押印は不要です。
2. 訂正印、捨て印を利用しての訂正はなるべくしないようにしてください。
3. 本事業報告書等は広く市民に閲覧に供されます（特定非営利活動促進法第29条第2項）。このため、「事業報告書等提出書」以外の書面への口座番号、貸借相手の個人名などの記載にはご注意ください。
4. 東京都が本事業報告書等を受理したことの証明が必要な場合は、「事業報告書等提出書」の謄本（コピー）と返信用封筒（宛名を記載し返信用切手を貼付したもの）を同封してご提出下さい。「事業報告書等提出書」の謄本に受理印を押印して返送致します。（窓口持参の場合は、返信用封筒は不要）

平成 23 年 度 事 業 報 告 書

平成23年4月8日から平成24年3月31日まで

特定非営利活動法人 健やかまちづくり

1 事業の成果

本法人の設立初年度では、地域の持続的な活性化を目指し、障害者、高齢者、子供に偏らず、健常者も含めたすべての人が安心して生活が出来るまちづくりを実現するため、まちづくりに関する技術・サービスの調査・研究、提供及び講習会等の開催事業を行った。

これらの事業を通じて、20年後の社会のために、まちづくりに関する技術・サービスを植樹し、目に見える地域の“つながり”づくりを行うことで、地域の医療、福祉、子育て環境等の課題を改善し、また地域の振興に貢献した。課題解決のために、子育て支援、商店街・地元企業との連携といった『ソフト応援』として初台プロジェクト会議における意見交換、道路の計画、公園の計画等の『ハードづくり』として山手通りオアシス（ポケットパーク）計画など、ソフトとハードの両面からアプローチを行い、法人の基盤構築に努めた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	内 容	実 施 時 日	実 施 場 所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額 (千円)
まちづくりの推進を図る活動に関する事業	設立記念講演会 ～まちづくりで健やかに～	6月17日 18時半～21時	オリエンタルコン サルタンツ	10	31	35,328円
	第7回 初台・健康医療福祉都市構 想/初台プロジェクト会議 「地域の公共交通」	6月10日 19時～21時	オリエンタルコン サルタンツ	9	40	-
	第8回 初台・健康医療福祉都市構 想/初台プロジェクト会議 「学校と地域：教育によるコミュニ ティのカたち」	9月2日 19時～21時	オリエンタルコン サルタンツ	10	40	-
	徳島大学地域交流シンポジウム2011 健康医療福祉のまちづくりを考える	10月16日 13時半～ 16時半	徳島大学	6	6	338,232円
	第9回 初台・健康医療福祉都市構 想/初台プロジェクト会議 「地域企業の社会貢献活動」	12月2日 19時～21時	オリエンタルコン サルタンツ	7	35	19,554円
	まちの保育園見学	12月17日 14時～16時	まちの保育園	7	7	26,360円

(2) その他の事業

	該当事項はありません。					
--	-------------	--	--	--	--	--

平成23年度

会計財産目録

平成24年3月31日現在

特定非営利活動法人 健やかまちづくり

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	52,529		
普通預金 三井住友銀行 渋谷支店	834,678		
流動資産合計		887,207	
資産合計			887,207
正味財産			887,207

平成23年度

会計財産目録

平成24年3月31日現在

特定非営利活動法人 健やかまちづくり

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	887,207		
流 動 資 産 合 計		887,207	
資 産 合 計			887,207
II			
前期繰越正味財産		-	
当期正味財産増減額		887,207	
正味財産合計			887,207
負債及び正味財産合計			887,207

平成23年度 特定非営利活動に係る事業 会計収支計算書

平成23年4月8日から平成24年3月31日まで

特定非営利活動法人 健やかまちづくり

(単位:円)

科 目	金 額		
(経常収支の部)			
I 経常収入の部			
1 会費・入金収入			
入金収入	300,000		
会費収入	189,000	489,000	
2 寄付金収入	1,000,000	1,000,000	
3 その他収入			
利息収入	110		
雑収入	25,500	25,610	
経常収入合計			1,514,610
II 経常支出の部			
1 事業費			
(1)まちづくりの推進を図る活動に関する事業費	419,474	419,474	
2 管理費			
事務人件費	58,580		
消耗品費	6,559		
通信運搬費	8,170		
支払手数料	4,410		
その他経費	94,742	172,461	
経常支出合計			591,935
経常収支差額			922,675
当期収支差額			922,675
前期繰越収支差額			0
次期繰越収支差額			922,675
(正味財産増減の部)			
III 正味財産増加の部			
1 資産増加額			
当期収支差額(再掲)		887,207	
増加額合計			887,207
当期正味財産増加額(又は減少額)			887,207
前期繰越正味財産額			0
当期正味財産合計			887,207

(注記)備考の5を参照

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 タイトルの年度の後の空欄部分には、「特定非営利活動に係る事業」、又はその他の事業を行う場合にあっては、「その他の事業」と記載し、事業毎に区分して別葉として作成する。
- 3 定款上、「その他の事業」に関する事項を定めている場合は、前事業年度に実施しなかった場合でも収入支出0円の収支計算書を作成する。
- 4 「事業費」とは、法人の事業の実施のために直接要する支出で、管理費以外のものをいい、会計処理上は、事業の種類毎に区分して記載する。事業費の例としては、「〇〇事業費」(注 当該事業の実施のために直接要する人件費・交通費等の費用が含まれる。)というように事業毎に記載する。
- 5 重要な会計方針等を計算書類に対する注記を欄外下に記載する。
(重要な会計方針とは、原価償却の方法及び資金の範囲等をいう。)
- 6 管理費の支出規模(管理費の合計)は、総支出額(事業費及び管理費の総計)に占める割合の2分の1以下であることが必要。(事業費>管理費)
(詳しくは東京都における運用方針参照のこと。)
- 7 特定非営利活動促進法第5条第1項により、その他の事業において収益を生じたときは、これを特定非営利活動のために使用しなければならないとあるので、その他の事業の収益は特定非営利活動に係る事業会計に全額繰り入れることが必要。
(詳しくは東京都における運用方針参照のこと。)

監査報告書

平成 24 年 6 月 20 日

特定非営利活動法人 健やかまちづくり
理事長 秋山 哲男 様

監事 江藤 和昭

私は、特定非営利活動促進法第 18 条の規定に基づき、特定非営利活動法人健やかまちづくりの平成 23 年度（平成 23 年 4 月 8 日から平成 24 年 3 月 31 日まで）の事業報告書及び計算書類（財産目録、貸借対照表及び収支計算書）について監査を行った。

監査の結果、法人の業務は法令、定款及び平成 23 年度の事業計画に基づき適正に執行され、会計処理は一般に公正妥当と認められる会計原則に則って適正に処理されているものと認められた。

よって、私は、上記の事業報告書及び計算書類が、特定非営利活動法人健やかまちづくりの平成 24 年 3 月 31 日をもって終了する事業年度の業務執行の状況、経営の状況及び同日現在の財産の状況を適正に表示しているものと認める。

以上

第7回初台プロジェクト会議 ～地域の公共交通～

開催報告

【開催概要】

日時：平成23年6月10日（金）19:00～
 場所：住友不動産西新宿ビル6号館 4-1 会議室
 出席者： 38名

1. 渋谷区コミュニティバス「ハチ公バス」について

（渋谷区福祉保健部 安蔵管理課長）

渋谷区安蔵課長より、ハチ公バスの概要について紹介していただきました。

ハチ公バスのルートが4ルートあること、利用者数が年々増加していること等がわかりました。

■主な質疑内容

Q1. バリアフリーの観点で実施していることはありますか？

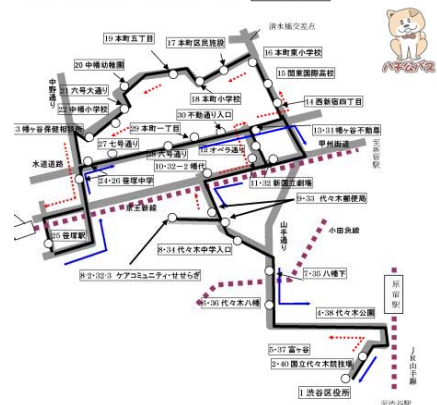
（酒向先生）

A1. 関係する施設間をつなぐようにルート設定しています。

（渋谷区）

意見. よく利用しており助かっています。ただ、手前のバス停で満員になることも多く、もうすこし便数があったほうがよいと思います。（渋谷区見守り協力員）

「本町・笹塚循環 春の小川ルート」 運行経路図



渋谷区ハチ公バスルート
（春の小川ルート）

2. 交通機関と沿線コミュニティの形成について

（1）初台地区における京王バスの運行状況、施設整備、利用状況等について

（京王電鉄バス㈱ 営業部 菅原主任）

菅原主任より、京王バスの運行状況や取り組みについて説明いただきました。

京王バスでは、ノンステップバスの導入、筆談器等の設備など、障害者対応に力をいれていることや高齢者施設体験研修等の社内研修を実施やエムシードゥコーと提携し、広告上屋付きバス停を山手通りにおいて都内初で導入しているそうです。

お客様とコミュニケーションを図ることでバスを身近に感じてもらうためのイベントを紹介いただきました。

KEIO

バリアフリーへの取り組み

- ノンステップバスの導入率 195両 78.9%
- 聴覚障がい者への対応→停留所名称表示器 247両 100.0%
- 視覚障がい者への対応→音声合成装置 247両 100.0%
- 乗降具（メモと車椅子用車内）整備 247両 100.0%
- 新入社員研修、高齢者認知体験・車椅子乗降教育 全員が実施

●ノンステップバス



ノンステップバスは、乗降は2段階（乗降台から車内）の手続きで、立ち上がりも楽に降り、やさしい乗り心地です。また一部の車両は、乗降時に音声案内が流れます。また、車内には、やさしいコミュニケーションの取組が実現しています。

●メロ付バス



メロ付バスは、乗降は2段階（乗降台から車内）の手続きで、立ち上がりも楽に降り、やさしい乗り心地です。また一部の車両は、乗降時に音声案内が流れます。また、車内には、やさしいコミュニケーションの取組が実現しています。

バリアフリーへの取り組み

- ① なるほど京王バス
 ⇒毎年夏休みに各営業所で開催、なりきり運転手、クイズ大会等
- ② 京王クリスマスバス
 ⇒バスの乗務員がサンタクロースに扮装、プレゼント配布
- ③ ギャラリーバス
 ⇒小学生のイラストをバス車内に掲載

■主な質疑内容

- Q 1. 車いすの乗降について、道路のマウンドアップがあったほうが車いすは乗り降りしやすいのでしょうか？(志木市)
- A 1. バス車体はニーリング機能がついているため、道路が平らな場合でもある程度対応可能ですが、極端な凹凸は乗降しづらいかもしれません。(菅原主任)
- Q 2. 観音開きのドア(中扉)の場合、乗降時に取手が引っ込むため、体制を崩すおそれがあります。スライド式のドアで取手が引っ込まないようにするなど、出来るだけ転倒の不安が少ない構造のバスにしてほしいです。(住民)
- A 2. 観音開きは1ステップバスとなっていて、今後、車両入替に応じて順次スライド式ドアのノンステップバスに移行する予定です。(菅原主任)

(2) 京王グループの沿線地域に果たす役割や取組み
 (京王電鉄(株) 事業推進部 古屋沿線価値担当課長)

古屋課長より、京王沿線の付加価値向上の取り組みとして、生活サポートサービスの展開や取り組みを地元根付いたものとするため、様々な地元企業と連携の内容について説明いただきました。

例えば、高幡不動では、地元クリーニング店と連携しクリーニングロッカーを設置しているそうです。

■主な質疑

- Q 1. シルバーの雇用はあるのでしょうか？(酒向先生)
- A 1. アルバイトという形でスタッフを雇用しています。家事代行は全員女性で、平均 60 歳くらいの方方で構成されています。買い物荷物を運ぶドライバーは、全員男性で 60 歳くらいの方方で構成されています。(古屋課長)
- Q 2. 渋谷区の方はこのようなサービスを知っていましたか？(酒向先生)
- A 2. 渋谷には店舗がないのでサービスを知りませんでした。(渋谷区)

KEIO

なるほど京王バス

●対象 年齢
小学生以下のお子様とその保護者、夏休みの土日に各営業所で順次開催

●目的
日々ご利用いただいているお客様への感謝を込め、京王バスのファン拡大、新たなお客様獲得を目的とした企画です。夏休み前に行われる各営業所を巡回し、「知る、知る、知る」をテーマにバスや体験型ゲームを掲載しました。お子様にバスの乗り方をのびのびと手紙や体験するわくわく感を味わってもらい、楽しい思い出や自由研究として、バスのあひだを知る「輪」が広がりました。また、バスの運転士さんと触れ合い、より身近に感じてもらうことも目的としています。

●お楽しみ
バスの歴史、エンジンルーム見学「見る」
バスに乗りこんだり、お楽しみ乗車体験(運転士さんのおまかせ運転)など
子どもたちの「なげう」に応じて、運転士が作る「バス場」(おまかせ乗車)など
運転士さんのおまかせ乗車体験(運転士さんのおまかせ乗車)など
参加したお子様には、夏予定やプレゼントをお楽しみしました。

KEIO

京王クリスマスバス (2010年度)

2010年12月4日(土)から25日(土)のクリスマスシーズン(限定)で「京王クリスマスバス」(クリスマスイベント企画路線/バス)を運行しました。

- 京王クリスマスバスには、クリスマスデザインの大スタッカーを貼り、車内にもクリスマスデコレーションを施しています。
- 運行期間内の上り、下り、平日とクリスマス(クリスマス当日の日中は、サンタクロースに扮した乗務員も乗車し、始発と終点停留所停車時には、クリスマスソングを車内放送し、空気を盛り上げています。
- また、運行期間中のお楽しみとして、京王クリスマスバス車内限定で配布するシールを2枚集めて郵便はがきで応募すると、抽選でプレゼントが当たるキャンペーンを実施しました。



KEIO

ギャラリーバス

- バス車内に地域の学校や幼稚園などの子どもの描いたイラストなどを掲出し、バスに親しみや乗る楽しみをもってもらえるバスを運行しています。



バスのイベント

9-2. 沿線価値の向上施策 ① ⇒生活サポートサービス

京王ほっとネットワーク



暮らしに役立つサービスを提供



面の情報や沿線の魅力発信

11. 京王ほっとネットワークとは

「京王ほっとネットワーク」は、お客様の様々なニーズを収集し、暮らしに役立つサービスを提供していく「サービスカウンター」です。

お客様との会話を通じて、「こんなことが、あればいいな・してもらいたいな」に対応する「生活サポートサービス」を現在、高幡店と榎上水店の2店舗でご提供しております。また、3月23日には3号店となる永福町店を開設する予定です。

お買物の「ほっと」サービスを除く各サービスは京王・井の頭線沿線全域で展開しており、来店での受付のほか、電話でのお問合せ・受付も実施しております。

<生活サポートサービス>

- お買物の「ほっと」サービス(店頭お買上げ商品当日宅配、お買いの代り)
- 安心の「ほっと」サービス
- シニアセキュリティ、京王ALSOKホームセキュリティ、パソコンデジタル家電訪問サポート
- 住まいの「ほっと」サービス(住まいのサポートサービス)
- 家事の「ほっと」サービス(家事代行サービス)

京王グループの取り組み

※発表者の所属・役職は、当日のものです

第8回初台プロジェクト会議

～学校と地域：教育によるコミュニティ形成のカタチ～

開催報告

【開催概要】

日時：平成23年9月2日（金）19:00～

場所：住友不動産西新宿ビル6号館 4-1 会議室

出席者： 27名

1. 初台の学校と地域について

（関東国際高等学校 黒澤企画推進部長）

関東国際高等学校の黒澤部長からは、今年の7/25（月）～7/27（水）に行われたSHIBUYA ENGLISH CAMP 2011 についてお話いただきました。

この取り組みは渋谷区内の中学生から希望者を募り、関東国際高校の英語のネイティブ教員の指導の下、3日間英語だけで課外活動を行うものだそうです。参加者はグループに分かれ、日常生活の他、英語で歌や劇等を練習し最後に発表も行うそうです。各グループにはサポーターとして当校の学生も入っています。

こちらの学校では、幅広く世界で活躍できる人材育成をめざし、韓国語や中国語等、他の言語も幅広く教えているということです。

■主な質疑内容

Q. このような活動で、大人を対象とするものはありますか？（住民）

A. 現状ではありません。ニーズがあれば企画したいと考えています。様々な言語を教えることのできる人材がいるため、地域でシェアできるようになるとよいのではないかと考えています。

（黒澤部長）

2. 芸術士のいる保育所の挑戦について

（NPO アーキペラゴ 三井理事長、太田芸術士）

NPO アーキペラゴの三井理事長と太田芸術士からは芸術士の取り組みについてお話いただきました。

芸術士とは子供達の感性と創造を最大限に引き出す手助けを行う人のことで、高松市を中心に活動しているそうです。芸術士は週に1～3回保育園に行き、子供たちと一緒に人形劇や絵の具遊び等様々なアートを使った遊びを行っているそうです。それぞれの内容は、大人向けのものとなっており、アーティストの作品を



配布いただいたパンフレット



NPOアーキペラゴの概要

子供達に見せることで、子供達の感性を磨いているそうです。

■主な質疑内容

Q 1.芸術士は高松市内の保育園のおよそ何割くらいに派遣されているのでしょうか？(酒向先生)

A 1.3 割程度の保育園に派遣されています。(太田芸術士)

Q 2.話を聞いていると、こういった活動は自閉症の治療に良いと思いました。そのような事例はないのでしょうか？(酒向先生)

A 2.確認はしていませんが、活動を終わると子供達はとても満足した表情をしており、よい影響を与えていると思います。また、大人の方も大きく変化しているという印象を受けています。この取り組みが保育園と保護者の間のよい潤滑油になっているように感じています。(太田芸術士)

意見.この活動は全ての子供達を対象にアートを展開しており、とてもよい活動だと思いました(シブヤ大学)



取り組みの様子

③. シブヤ大学の挑戦について

(シブヤ大学 左京学長)

シブヤ大学は 5 年前に活動を開始したプロジェクトで、渋谷の街中の資源・人材を活用し、渋谷に関わりのある人に生涯学習の場を提供する取組だそうです。NPO が主催しています。

大学には特定の校舎はなく、渋谷区の町全体がキャンパスになっているそうです。様々な人が講師を務めており、小学生が先生を務めたこともあるそうです。年々受講者は増えており、主に 20 代や 30 代の方が多そうです。今後も主催している自分達が学びたいことを授業として展開していくとおっしゃっていました。

■主な質疑内容

Q 1.この活動は渋谷という町だからこそ成功しているのではないのでしょうか？(酒向先生)

A 1.そう思います。ただ、鶏と卵みたいな関係もあって、町が栄えるから人が集まる、人が集まるから町が栄えるといったものと考えています。(左京学長)

意見.渋谷はサブカルチャーが根付いており、これをうまくくみとったためこの活動は成功していると思う。(秋山先生)



シブヤ大学 HP



シブヤ大学 姉妹校

以上

初台会議について

少しでも興味をもたれた方は是日参加を！特に条件等はありませんので参加希望の方は事務局に連絡ください。情報はホームページ(<http://www.suko-machi.net/index.html>)に掲載していますので興味をもたれたかたはアクセスください。

第9回初台プロジェクト会議

～地域企業の社会貢献と地域貢献活動～

開催報告

【開催概要】

日時：平成23年12月2日（金）19:00～
 場所：住友不動産西新宿ビル6号館 2F-1 会議室
 出席者： 42名



1. 伊藤園のCSR活動～地域活性化への取り組み～

株式会社伊藤園 笹谷取締役

株式会社伊藤園の笹谷さんから、伊藤園の社会貢献活動についてお話をいただきました。

伊藤園は、ISO26000の国際標準に沿ってCSR活動を進めています。主力商品の「お～いお茶」に関連して、耕作放棄地の活用につながる茶産地育成事業や、茶殻リサイクルシステムを展開しています。また、地元でのアダプトプログラムを始め、食の安全、環境保全、地域に密着した積極的な活動や災害協定自販機の設置など、幅広く活動を行っているそうです。

■主な質疑内容

Q1.伊藤園のCSR活動には、経営者の思いが関係しているのでしょうか？（酒向先生）

A1.その通りです。経営理念や社是にも「お客様第一主義」「社会からの信頼重視」という思いが表れており、社員が社会からの信頼を重視した活動を行っています。（笹谷さん）

意見.商品に関して、生産からリサイクルまでの一連の流れで取り組んでいる点が素晴らしいと思います。お茶殻入りベンチなど今後活躍していくフィールドがあると思うので、連携して展開していきましょう。（東京都）

A2.引き続き、行政の方々と連携して展開していきたいと考えていますので、よろしくお願いします。（笹谷さん）

【お茶殻のリサイクル商品】



重量：約23kg
1,600mm(W)×610mm(D)×745mm(H)

お茶殻入りベンチ



お茶殻入り封筒



お茶殻入り折紙・千代紙

2. 地域貢献と社会貢献活動について

ロッテ株式会社 辻広報・宣伝部長

ロッテの辻さんから、ロッテの社会貢献活動についてお話をいただきました。

ロッテでは、お菓子には不思議な力があり、自然と笑顔が集まると考え、イベントの開催や義捐金などの支援活動に取り組んでいるそうです。(キモチつながるプロジェクト)

また、チューインガムを通して、『咀嚼と健康』に関するテーマでイベントなどを展開しているそうです。例えば、咀嚼の効果を分かりやすく説明し、高齢者の方が認知症になりにくい生活づくりの提案などを始め、80歳になっても自分の歯を20本以上保つための8020運動などを展開しているそうです。

■主な質疑内容

意見.これまでは患者さんの体調やメタボに配慮して、お菓子の量をセーブしていました。今後はお菓子と笑顔の結びつきを考えてメタボにならない程度に食して頂こうと思います。(酒向先生)

Q1.お菓子メーカーの増加や、健康志向の高まり、さらに少子高齢社会の進展などの社会的変化による影響はありますか？また、その中で、商品開発のコンセプトに変化はあるのですか？(山下さん)

A1.ガムやチョコレートなどお菓子全般で売り上げが停滞していますが、その中でキシリトールガムは歯の再石灰化を促す食品として売り上げを維持しています。そこで、虫歯予防などお菓子を食べる健康につながるような商品開発や展開を図っていきたく考えています。(辻さん)

意見.健康と笑顔というキーワードのもと、ヘルシーウォーク等のイベントにご協力頂ければと思います。(酒向先生)

3. NTT東日本における社会貢献活動について

NTT東日本 工藤 CSR 担当課長

NTT 東日本の工藤さんから、NTT 東日本の社会貢献活動についてお話をいただきました。

災害時など耳の不自由な方が、電話連絡等を行う必要が生じた際に、用件や連絡先等を書いて近くの方に協力をお願い



【咀嚼と健康に関する取組み】



ベストスマイル・オブ・ザ・イヤ-



健康ガムカムダンベル体操

するためのコミュニケーションツール（電話お願い手帳）の提供や耳の不自由な方でも音楽を楽しめるよう骨伝導式ステレオヘッドホン（ライブホン「ときめき」）を活用したコンサートの開催などを行っているそうです。

■主な質疑内容

Q1.まちやコミュニティの再生にはコミュニケーションが重要ですが、そのようなコミュニティ再生プロジェクトに参加した経験はありますか？（酒向先生）

A1.自治体と連携したネットワーク回線の整備や乗合タクシーサービス、子供への情報通信の事業展開、高齢者への健康相談など地域に密接した活動に取り組んでいます。（工藤さん）

Q2.たくさんの社会貢献に取り組んでいますが、「電話お願い手帳」の機能を携帯電話に追加してはどうでしょうか？すでにそのような機能はあるのですか？（秋山先生）

A2.全国の福祉団体等へアンケートを実施したところ、「手帳」での利用希望を多く頂き、電話お願い手帳に対するニーズが少ないことを確認できました。携帯電話に関するご意見については、今後の参考とさせていただきます。（工藤さん）

意見.骨伝導の技術もさらに展開していける可能性を秘めていると思います。バリアフリー対策が徐々に聴覚当事者への対策などのソフト面にシフトしてきているので、そういうところでも是非社会に貢献してほしいと思います。（秋山先生）

Q3.東日本大震災では電話が繋がらず、携帯のメールが時々繋がるような状態でした。震災以降、災害時の通信技術に前進はありますか？（渡部さん）

A3.東日本大震災では、通信設備にもダメージがありましたが、特に長時間にわたる停電が通信状況に大きく影響しました。災害に強いネットワーク設備はもちろんですが、災害時の通信手段の確保については、コンビニや全国に拠点を構える企業などと連携し、災害拠点の構築を検討しています。また、自治体との連携しながら復興まちづくりに対する貢献も果たしていきたいと考えています。（工藤さん）

【NTT社会貢献活動の取り組み事例】



電話お願い手帳



電話お願いカード

骨伝導方式ステレオヘッドホン
ライブホン「ときめき」のご紹介

ライブホン「ときめき」は、聴覚に障がいのある方により豊かな音楽を楽しんでいただくため、NTTグループが開発したステレオヘッドホンシステムです

聴覚に障がいのある方、聴覚に障がいのある方のための骨伝導ヘッドホン「ときめき」は、機械の振動によって音を伝える骨伝導ユニットが備わったステレオヘッドホンと、フィッティング機能を内蔵したステレオアダプターで構成されています。

右図のようにヘッドホンの振動子を用いて、両上頰の骨を振動させる。振動が骨導管(1)となり耳小骨、錘骨を振動させて聴覚神経に伝わる。耳後・外耳道内側の振動が気導管(2)となり、鼓膜から聴覚神経まで伝わる。上記2つが聴覚効果となり、音をより長く聴くことができます。

開発の経緯について
NTTグループが1996年に完成した、聴覚に障がいのある方のための骨伝導ヘッドホン「ときめき」は、骨伝導技術の活用を応用して、聴覚障がい者用ステレオヘッドホンの開発に着手し、1997年に第1号機が完成しました。その後、聴覚や聴覚障がい者など、多くの方々に協力を得て豊富な聴覚障がい者向け、1998年に第2号機「ときめき」が開発されました。

これまでの活用実績について
1997年以降、これまでに4,000名を超える方々にライブホン「ときめき」により、聴覚障がい者を楽しんでいただいています。

コンサートにおける活用実績
国内：日本全国で400回以上開催
海外：ニューヨーク・カンネンセンター [1996年] ニューヨーク・リンカンセンター [1997年] マネシア・パスタンジャヤ [1997年]

コンサート以外における活用実績
1) フロントコートラヴ「大宮アルディージャ」における活用 [2008年]
2) アンドゥ夢を叶えるべし、スタジアムへ臨陣にライブホンを装着して音の異なる試合体験をお楽しみいただく機会を提供。
3) 特学支援課「株（東京都千代田区）における活用 [2008年（継続）]
4) 特学支援課「株（東京都千代田区）における活用 [2008年（継続）]
特学支援課「株」がライブホンを開発し、音の伝わり方についての聴覚を深める材料として活用。

ライブホン「ときめき」
(ライブホンコンサート)

以上

初台会議について少しでも興味をもたれた方は是日参加を！特に条件等はございませんので参加希望の方は事務局に連絡ください。情報はホームページ(<http://www.suko-machi.net/index.html>)に掲載していますので興味をもたれたかたはアクセスください。